

## 今年度のイベント等の予定

今年度、愛知県の自殺対策基金事業として、以下を予定しています。※まだ確定ではなく、今後変更になる場合があります。

(1) 自死遺族の会in岡崎 予定時期：2015年9月

今年も、岡崎市様のご協力により岡崎での遺族会の開催を予定しています。今回は午後のみで開催予定です。

(2) 若者自死遺族の集い 予定時期：2016年1月

2015年1月に続き、2016年1月に集いを開催する予定です。

他、不定期ですが、若者向けの会の開催を計画しています。

(3) 昨年度発行した文集の増刷 時期：2016年3月末

2014年3月末に発行した冊子「自死遺族のあの日・その後」の増刷を予定しています。

このほか、名古屋市の主催の自死遺族支援セミナーが11月29日に行われる予定です。自死遺児支援がテーマですが、自死遺族対象の法律相談会なども開催されるようです。詳細がわかり次第、またご案内します。

## 多くの方のもとに

### 冊子：自死遺族の あの日・その後

2014年3月末に発行した冊子「自死遺族のあの日・その後」は、中日新聞・朝日新聞でも紹介していただき、現在までに200通ほどの送付申し込みがありました。

過去に当会が発行した手記集類と4冊セットでの送付依頼がほとんどでした。お手紙が同封されているものもあり、「同じような体験をした他の人の思いが知りたい」という当事者の方からのお手紙はこれまでもよくいただいていたのですが、今回は、「近所の方がご家族を自死で亡くされたので、なにかできることがないか、まずは当事者の方のお気持ちが知りたい」という、当事者以外の方からのお手紙が多くありました。



今回の行き先、愛知牧場の馬

## 春の遠足

4月19日(日)に、恒例の第21回春の遠足を行いました。次は秋、10月ごろを予定しています。詳細は、10月発行の新聞でお知らせいたします。

## 次回の遺族会

第70回

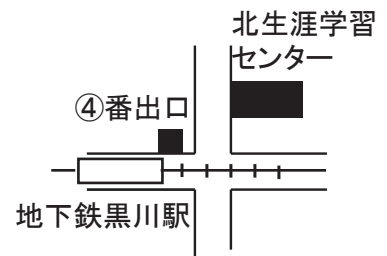
6月21日(日)13:15から

名古屋北生涯学習センター

地下鉄名城線「黒川」下車

(4番出口)よりすぐ

参加費：500円



その次は・・・

第71回 8月2日(日)、会場は同じく北生涯学習センターです。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>

携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>

電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

## 郵送先住所が 変更になりました

2015年1月より、郵送先住所が以下に変更になりました。

〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄4-16-24

メゾンオザワビルS150

リメンバー名古屋

郵便物は受取までに14日以上かかる場合があります。お急ぎの場合などは、FAX：020-4668-8925、メール等をご利用ください。

## 連載⑨ dead or write

羊のミケ

なぜ私は文章を書くのか。長らく自問自答したところ、大きく二つの理由が考えられた。

一つは思考の可視化。頭の中をアウトプットし、何を考えているのかを自覚するためだ。私の頭の中はいつもごちゃごちゃしている。苦手なあいつ、晩御飯のおかず、レポートの締め切り、過去のトラウマ、将来への不安。余計なもので常にいっぱいだ。だから、私は時々自分が何を考えているのかわからなくなる。インスタントの食べ残し、くたびれたTシャツ、積み上げられた煙草の吸殻、カビの生えた万年床。廃退の象徴のような部屋から必要な物を探し出すのは至難の業だ。だが、文章を書けばそれができるようになる。ペンを握れば、キーボードに指を乗せれば、求めているものが文字となって自然と現れる。

乱雑な部屋では必要なものは、追いやられ、いずれどこかに消えてしまう。文章を書くことで自分の思考を失わずに済む。文章を書くことは、鬱屈した日常の中で自分を見失わずに済む手段であり、救済なのだ。パンクしそうな頭は、文字にすることで溜飲が下る。

そして、二つ目は生きた証を残すため。人は何のために生まれ、なぜ死ぬのだろうか。死生観を持ち出すのは大袈裟だと思うかもしれないが、私にとって執筆と死は常に密接な関係にある。私たちは生まれた瞬間から長くて100年後、短くて次の瞬間には死ぬかもしれない。言わば暗黙の死刑宣告だ。それにも関わらず、社会を生きている人間たちはそのことを気にもせず生きている。優秀な学校、一流企業に勤め、幸せな家庭を築いて寿命を全うすることが正しいことだと信じて疑わない人間が多数だ。

私はそのことが不思議で仕方がない。彼らの生き方を否定する気はないが、声を大にして聞きたい。

「お前はそれで本当に心の底から幸せだと叫べるのかい」

私にとっての幸せは幸福な家庭を築くことでもなければ、子孫に見守られながら死ぬことでもない。

生涯独身で結構、子供も不要。私にとっての幸せとは、生きた証が残り続けることだ。

私はいつも生きづらさを抱えている。何かを始めるとき、「何のために生きているか」が脳味噌の皺の隙間から入り込んできて見る見るうちに無力感に染めていく。そうして支配された脳味噌は目に移るものを無価値なものに思わせる。

何のために学び、何のために働くのか。追求しだしたらキリがない。もはや哲学だ。

それでも、「なんのため」はついて回る。答えのない問いに憑つかれた私が出した答えは「書くため」だ。この世のあらゆる出来事は私にとって全て「書くため」に存在する。そして、おかしくなりそうな頭の中全てを文字として形にする。その形が、私の生きた証として残ればいい。

太宰治は愚行を重ねた非人道的な人間だと私は思う。にもかかわらず、文豪として崇拝されているのは彼の並外れた執筆力によるものだろう。

社会から後ろ指をさされ、排除される対象であるはずの太宰が死後60年以上たった現在でも覚えられ、文章は名作として読み継がれている。これは見方を変えれば彼のマイノリティな生き方に社会的価値を与えたのは文章だということだ。

私は太宰のようになりたい。私を取り巻く環境、過去、劣等感、スティグマは文字にすることによって昇華される。マイノリティを排除しようとする社会を、羊の群れを平伏させたい。

自分死刑囚だと知った瞬間から、願わなくてもつつがなく続いていく人生に終わりがあると知った瞬間から、私の頭の中は「何のため」が支配している。

何のための人生？

書くための人生だ。頭の中を駆け巡る多くの思いや情景を言葉として紡ぎ、マジョリティを必ず平伏させる。

終わりがあることを知ってしまった私が自分自身に投げかけた選択。dead or write.

回り始めた車輪はもう止まらない。

## 新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円 もしくは 82円切手(80円切手も可)13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円 もしくは 82円切手(80円切手も可)7枚

お申込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。遺族会の当日、受付でお支払いいただいても結構です。

## スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。詳しくはお問い合わせください。

# 2014年度会計報告

たいへん遅くなりましたが、2014年度(2014年1月1日～2014年12月31日)の会計報告がようやくまとまりましたので、ご報告させていただきます。

遺族会の時いただいております会費(現在500円)は、下記のように使わせていただいております。また、共に支え合うという自助グループであることから、スタッフとしての参加者も参加費を支払って会の運営に充てています。

これまで同様、会計規定に則り大切にに使わせてい

たきます。

また2014年1月、2014年11月に「リメンバーin岡崎」を開催し、2014年3月には冊子を発行しましたが、その費用は、遺族会会計とは別に、「愛知県地域自殺対策緊急強化基金」で賄っております。

## 収支計算書(遺族会会計)

【収入】 90,546

●遺族会会費 60,000

2月 10,500

4月 11,000

6月 9,000

8月 9,000

10月 9,000

12月 11,500

●リメンバー新聞会費 18,746

●その他 11,694

寄付 5,440

望年会残金 2,404

他 3,850

●受取利息 106

## 貸借対照表(遺族会会計)

【資産】 664,451

●現預金切手計 664,451

【負債】 0

●未払金等 0

【正味財産】 664,451

●昨年度からの繰越 716,754

●今期収支差額 △52,303

●イベント会計へ移管 0

【支出】 142,849

●会場費 43,200

●事務費 6,752

コピー代、封筒、プリンターインク他

●交通費 10,200

会場予約、文庫、遺族会用品運搬等

●通信費 77,825

私書箱開設・転送費用

27,300

新聞・冊子等送付

19,942

遺族会携帯 12,806

サーバーレンタル、資料送付他

17,777

●雑費 4,872

遺族会お茶コップ他

【今期収支差額】 △52,303

今期収支差額 △52,303  
をそのまま、次期に繰り越し。

ご寄付いただきましたみなさま、どうもありがとうございました。

※今後のイベント、冊子制作等大きな出金のための保管会計

## 収支計算書(イベント会計)

【収入】 0

●遺族会会計より振替

0

【支出】 0

【今期収支差額】 0

## 貸借対照表(イベント会計)

【資産】 466,030

●現預金切手計 466,030

【正味財産】 466,030

●昨年度からの繰越 466,030

●今期収支差額 0

そのまま、次期に繰り越し。

リメンバー名古屋 会計規定 2007

「会の活動」に関してかかる収入・費用を、以下のよう  
に定め、会の会計により処理するものとする。

- ・会の活動とは、遺族会、スタッフ会議、講演会シンポジウムなどのイベント、他団体自治体等との必要な会議、会に対する取材対応、遠足の会、作文の会など。
- ・会の名前を使用するなどしていても、個人的な講演、寄稿、取材などについて、その報酬、費用について、会の会計は関与しない。
- ・講演会、シンポジウムなど大規模なイベントなどについては、独立採算を基本とし、最終損益の処理は都度検討する。
- ・以下に規定のないものは、都度協議する。

収入

- 会費  
遺族会における会費・郵送会員年会費
- 寄付、助成金等  
寄付、助成金収入

■イベント収入  
イベント時の収入

費用

- 会場費  
「会の活動」のための必要な会場使用にかかる費用。遺族会、会議における会場費用等。
- 通信費  
「会の活動」のための必要な通信費。遺族、関係者との連絡、物品の移動にかかる通信費など。
- ・会のホームページ設置にかかる費用。
- ・郵送、宅配便等は実費。
- ・会名義の電話費用全額。
- ・個人名義の電話、FAXでの通信費は、概算で請求。
- 交通費  
「会の活動」のうち、会を代表して対外的に行うものにかかる交通費。
- ・会場取得、他団体自治体等との必要な会議、会に対する取材対応など。
- ・遺族会、スタッフ会議、遠足の会、作文の会などへの

出席のための費用は含まない。  
但し、会の運営に必要な荷物の運搬のために車で移動した場合を除く。  
公共交通機関の場合・・・実費  
車移動の場合・・・駐車料金、ガソリン代等、実費相当分

- 事務費  
「会の活動」のための必要な事務費。新聞、パンフレット、アンケート、会議資料などの用紙、印刷費用。
- 雑費  
遺族会で使用のお茶、コップなど。スタッフ内のみでの飲食費などは不可。
- イベント費用  
イベント時の費用。
- 交際費等  
基本的に不可。
- 活動報酬的なもの  
基本的に不可

## 寄稿

「あの人の思ひ」

Yoshi

君へ。

あれからもうすぐ一年が経とうとして  
いるね。  
もう苦しくない？見ていてくれるの  
かな。

僕らは結婚して一年だった。

君と初めて会った時、とても笑顔が素  
敵な女性だと思ったよ。

それからすぐに打ち解けて、僕らは付  
き合う事になった。  
身体に障害があつて、いつも杖をつい  
て歩いてきたから、転ばないように手  
を繋いで歩いたね。

それまで歩くのが早かった僕が、君と  
手を繋いでゆっくり歩くと、なんだか  
世界がゆっくり動いているみたいで、  
とても幸せだった。  
今も手のぬくもりの感覚が残ってるよ。

僕は君の「初めて」になりたかった。

障害があつたから、今まで君が行かな  
いような高いところにある景色や、階  
段のキツイ所に連れまわしちゃったね。

でもいつもとびきりの笑顔で答えてく  
れた。

会社の経営が傾いた時、僕は一度君に  
別れを告げたね。

でも、私を支えるから大丈夫って言っ  
てくれた。

そんな事させないけど、あれから絶対  
君だけは守るって心に決めたんだ。

あの言葉ですごく頑張れて、会社は立  
ち直って僕たちは結婚した。

プロポーズした時「こんな私でいいの  
？本当にこんな私で。」って何度も聞  
いたよね？

バカ言っちゃいけない。僕には君しか  
いない。  
僕にあんなに元氣や勇氣を与えてくれ  
るのは、君しかいないんだ。

それなのにごめん。

僕は君を守れなかった。

「私は障害があるから。多分私の方が  
先に死ぬから。その時は傍で見送って  
ね。絶対私より先に死なないでね。耐  
えられないから。」

結婚が決まってから、笑いながら君は  
そう言ったね。

僕はその約束だけは守らなきゃと思っ  
てた。

でも、もっと何十年か後の話だよ。そ  
れは。

君は自殺してしまっただけで、君の本意  
じゃなく、うつ病になっただけで、君  
いだと思ってる。  
亡くなる前の日に、一緒に映画を観た  
いって言ってたからね。  
僕と一緒に生きていたかったよね。

亡くなる二か月前、君から「私、最近  
おかしいよ。うつ病かもしれない。時  
々死にたいと思うことがある。」って

聞いた時、本当にびっくりした。

障害がある妻に、なぜこんな試練を与  
える？なぜ苦しめる？  
神様なんていないと思つた。

でも二人なら絶対乗り越えられると思  
つてた。

一年後にはすっかり良くなって、「そ  
んな事もあつたね」なんて言つて、ま  
た二人で笑つてるって、当たり前の前  
うに思つてた。

だから今でも信じられない時があるよ。

君と暮らしたこの場所で、何で一人  
でいるんだろうって、急に我に返つて悲  
しくなる時がある。

自分が生きている意味が分からなくな  
って、早く僕も連れてってくれて、  
何度も思つた事もある。

でも君と出会えて僕はとても幸せだっ  
た。

君の初めての彼氏、初めての夫になれ  
たから。  
たかさんの「初めて」をしてあげられ  
たから。

君は幸せだったかな？

心に誓ったのに、君を守ってあげられ  
なくて本当にごめんなさい。  
君を一人寂しく逝かせてしまつて、ご  
めんなさい。  
君を傍で見送つてあげられなくて本当  
にごめんなさい。

もし神様がいるとしたら、彼女に安ら  
ぎを与えて下さい。  
お願いします。

## 次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くさ  
れた方を対象に、2ヶ月に1回、遺族会「ディア  
レスト (Dearest)」が開催されています。

日時：2015年7月26日 (日) 13:30-16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター

地下鉄東山線「本陣」駅4番出口より徒歩5分  
対象：家族以外の大切な人(恋人・婚約者・パートナ  
ー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、  
など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費：500円

連絡先：the.dearest1@gmail.com

http://dearest.heya.jp